

飛騨市まちづくりレシピ♪

まちづくりって特別なことじゃなく、みんなの暮らしがちょっと豊かになる活動。
飛騨市内で活動されているまちづくり団体を紹介していきます。
気になる活動があれば、気軽に参加してみませんか？

心も元気！体も元気！

古川民踊連盟



今回は、なんと昭和48年から活動を続けている「古川民踊連盟」さんにお話しを聞きました。大人のグループだけでも11団体もあり、古川町内各地で活動をしているそうです。子供さんに教える教室も3団体あり、30人の小学生を中心とした子供たちに毎週教えています。

ぜんぜのごや若松様といった古川町になくはならない歌を始め、全国各地の伝承民踊を練習し、年1回の古川民謡まつりで披露しています。毎年7月頃に開催していて、だれでも入場可能無料ですので、ぜひ行ってみてください。

この地域の民踊は、約50年前に一人の先生が勉強をして、まとめたものをみんなに教えて広めたことが始まりだそうです。次に伝えていける人材をたくさん育て、今の形ができました。踊り手によって変わってしまう民踊を正しく指導してくれるすごい先生だったと、当時から活動を続けている方は語ってくださいました。

現在は女性が多いのですが、最近60代〜70代の男性が新たに参加され、一生懸命練習しているそうです。徐々に男性だけの民踊も披露することができると期待されています。

今の目標はもうすぐ迎える50周年の記念行事を行うこと。今までに無い、若い人も踊りたくなるような、新しい飛騨市オリジナルの民踊をつくって、市民みんなで町中を踊り歩きたいと壮大な計画を考え中です。飛騨市の新しい民踊、完成したらみんなで踊って、民踊の楽しさと併せて繋いでいきたいですね。

基本情報

設立：昭和48年 会員：41名
主な活動地域：飛騨市古川町内
主な活動：民踊の練習・指導
(子どもの教室も含む)
古川民謡まつりの開催
市内各施設での披露



まちづくり団体募集中!

あなたのまちづくり活動や、街で見つけた素敵な人たちの活動を、広報ひだで市民に紹介しませんか？ 自薦他薦は問いません!

問 地域振興課
☎ 0577-62-8904

まちづくりレシピWEBページ開設!

紙面には載せきれなかった各団体の詳しい情報は、飛騨市ホームページでご覧いただけます！
ひだプラスキャラバンで聞き出した裏話もたっぷり！
まちづくりのヒントになるかも？ぜひご覧ください。
<https://www.city.hida.gifu.jp/site/hidaplus/>



こんにちは 市民病院です

飛騨市民病院は
無くなりません

飛騨市民病院
黒木嘉人

新年、あけましておめでとございませう。

さて、厚生労働省は、昨年9月に全国の公立・公的病院のうち「再編統合の議論が必要」と位置づけた424病院を実名で公表しました。その中に飛騨市民病院も含まれており、この報道を知った市民の皆さまはさぞや不安になられたことと思います。これは厚生労働省が打ち出した「地域医療構想」に関連するものであります。「地域医療構想」とは、この先の2025年に団塊の世代が後期高齢者となる一方で、支える世代の15〜64歳の生産年齢人口が減少するので、限りある地域の医療資源を効率的に活用するために、各県が主導で病院のベッド数を見直ししよつとするものです。しかし、必然的に病床削減の議論を伴うことになるために、全国各地でも「地域医療構想」の

議論が具体的に進んでいないのが現状であり、業を煮やした厚生労働省が大変に唐突で無謀な今回の公表に至った訳です。この判定基準は「特に診療実績の少ない」と類似かつ近接する(車で20分以内)に病院がある」の2つです。前者は当然小規模病院の大半が該当しますが、だからといって病院を無くしてもいいのでしょうか。また、後者のような病院が飛騨市民病院の近くには無いのに「ある」との分析結果であり、そのあたりからこの公表がいかにも信ぴょう性に欠けるかが明白です。

そもそも岐阜県が進めてきた「地域医療構想」では、飛騨市民病院の再編統合の議論は全く出ていません。また、通院距離による病院の必要性の判断自体は重要な視点といえ、神岡地区での安心な暮らしに飛騨市民病院が不可欠なことは言うまでもありません。したがって病院が無くなってしまうという心配にはおおよびませんのでご安心ください。しかし、これからの人口減少、少子高齢化社会のニーズにあわせた形態に病院を変革させて行かなければいけないことは、避けられない道であるものとご理解いただきたいと思ひます。



みんなで活かして
楽しい毎日!

飛騨の薬草を学ぶ 教養講座

クマザサ

冬になると植物、更にはその中から薬草を探そうと思つとかなり限られてきますね。

クマザサは年中あちこちの山で緑の葉を見ることができるとも生命力がとて強い薬草です。「タミニンB1、B2、C、Kのほか、カルシウムや鉄分、カリウム、マグネシウム、亜鉛など多くのミネラル分が含まれており、それが臍臓や血管の強化につながります。また、笹団子や富山のマスの寿司はササで包んでありますが、これはササの防腐殺菌作用を活用しているのです。そのような強い抗菌効果があります。

効能としては、リンパ液の流れを良くし、解毒作用があり、胃弱、胃もたれ、高血圧、糖尿病に効果があります。常時飲んでいると、虚弱体質やアレルギー体質の改善につながります。胃潰瘍、胃炎、歯槽膿漏、口内炎を改善し、口臭除去の作用があるなどさまざま効果があります。

世の中にはクマザサを使ったお茶や健康

食品が数多く販売されています。それらも血液関係や抗菌、殺菌、口臭除去といった効果を期待するものが多いようですね。

活用としては、葉が丈夫で加工がしにくいので、お茶にするのがいいでしょう。乾燥葉や生葉を煎じます。目安はお湯が黄色くなるまで煮だしてください。飲んですぐ効果を実感する場合がありますが、基本は適量を長く続けることで、体の中で代謝され、さまざまなミネラルの働きにより体質が改善されて健康になります。じっくり腰を据えてはじめてみましょう。これは薬草全てに言えることです。また、もし春先にクマザサのタケノコを見つけたら皮付きのまま焼いて、皮を取って食べてみましょう。体の痛みをとることができず、何より美味しいですよ。

冬場でも手に入れることができる薬草をうまく取り入れて、体にミネラルを補給しましょう!



(村上光太郎「薬草を食べる」より)